

『染色体工学が切り拓いた新領域と医学・薬学応用への挑戦』

鳥取大学 染色体工学研究センターにおける染色体工学技術と異分野領域との融合によって生まれた、医学・薬学への応用について、現状とフューチャープランを大学研究者のみならず製薬企業等へ発信するものです。ぜひ、鳥取大学発の染色体工学技術を利用して、さらなるオープン・イノベーションを巻き起こす情報収集の場として頂きたく、皆様のご参加を期待しております。

申込不要
参加無料

10:00~10:05 開会の挨拶 (鳥取大学 副学長/研究担当理事 田中 久隆)

【第一部】

10:05~10:35 『染色体工学技術による医学・薬学への応用』

鳥取大学大学院 医学系研究科 教授/染色体工学研究センター長 押村 光雄

10:35~11:20 『ゲノム編集技術の限らない可能性』

広島大学大学院 理学研究科 数理分子生命理学専攻 教授 山本 卓

11:20~11:50 『染色体工学技術によるヒト化モデル動物の作製』

鳥取大学大学院 医学系研究科 機能再生医科学専攻 助教 香月 康宏

11:50~12:20 『ヒト化モデル動物による動態研究への応用』

千葉大学大学院 薬学研究院 遺伝子薬物学講座 准教授 小林 カオル

【第二部】

13:30~13:50 『染色体工学技術によるテロメラーゼ抑制遺伝子の単離』

鳥取大学大学院 医学系研究科 機能再生医科学専攻 准教授 久郷 裕之

13:50~14:10 『発光遺伝子によるマルチレポーターシステムの開発』

産業総合技術研究所 バイオメディカル研究部門長/
染色体工学研究センター 客員教授 近江谷 克裕

14:10~14:50 (((ポスターセッションタイム)))

14:50~15:20 『マルチインテグレーションシステムの開発と
染色体工学技術への応用』

鳥取大学 生命機能研究支援センター 動物資源開発分野 准教授 大林 徹也

15:20~15:40 『染色体工学技術によるin vitro肝毒性評価システムの開発』

鳥取大学 染色体工学研究センター 染色体医療学部門 教授 多田 政子

15:40~16:20 『大学発シーズはこう産業化する --- 染色体工学の可能性』

日経BP社 特命編集委員/
染色体工学研究センター 客員教授 宮田 満

16:20~16:30 総合討論 (押村 光雄)

16:30~16:35 閉会の挨拶 (鳥取大学 副学長/地域担当理事 法橋 誠)

★ 発表会終了後、JR浜松町駅付近にて
交流会を予定 (お一人3,500円)

日時

2014年
2月21日
(金)

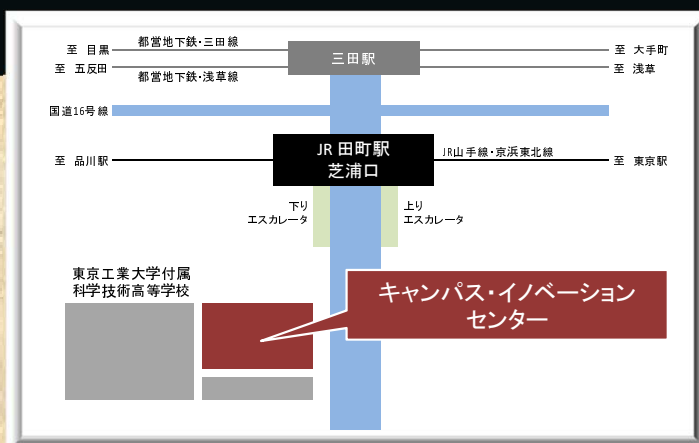
10時~16時35分

場所

キャンパス・
イノベーション
センター東京
1階 国際会議室
(東京都港区
芝浦3-3-6)
(ポスター発表
は、5階)

お問い合わせ

公益財団法人 鳥取県産業振興機構
バイオフィロンティア推進室
事業推進グループ長 兼 サブマネージャー
平松 敬 (Kei Hiramatsu)
〒683-8503 鳥取県米子市西町86番地
TEL:(0859)37-5131 FAX:(0859)37-5132
E-mail: khiramatsu@toriton.or.jp



主催

鳥取大学 染色体工学研究センター
財団法人 鳥取バイオサイエンス振興会
公益財団法人 鳥取県産業振興機構

後援

一般財団法人 バイオインダストリー協会
東京リエゾンオフィス